

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	がん治療をうける患者でのポリファーマシーと薬物相互作用の現状調査
研究責任者	石田 耕太
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	厚生労働省の「高齢者の医薬品適正使用の指針」において、ポリファーマシーは、単に服用する薬剤が多いことではなく、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服薬過誤、服薬アドヒアランス低下などの問題につながる状態とされています。薬剤数だけに注目すればよいわけではなく、服用薬剤中に潜在的に不適切な処方が含まれること、多剤併用によって薬物相互作用が問題となること、服用薬剤数の増加がアドヒアランスの低下を招くことが、薬物有害事象への増加につながるためポリファーマシーは重要な問題として挙げられます。¹⁾ 特にがん患者さんでは、がん薬物療法の実施の際に、処方薬剤数の増加によりポリファーマシーになりやすく²⁾、がん薬物療法との相互作用が懸念されます。そこで、がんと診断された患者でのポリファーマシーの現状とがん化学療法との薬物相互作用について調査します。 1) 厚生労働省:「高齢者の医薬品適正使用の指針(総論編)平成30年5月29日日医政安発0529第1号」 2) Association of polypharmacy and potential drug-drug interactions with adverse treatment outcomes in older adults with advanced cancer (Cancer. 2023;129:1096-1104)
研究方法	対象は2014年1月から2022年12月までに診断されたがん患者を対象とし、年齢、性別、疾患、既往歴、服用薬を電子カルテより後方視的に調査します。 がん治療を始める前の服用薬を、がん関連薬、既往歴関連薬、その他の薬に3分類し、がん化学療法を開始前のポリファーマシーの状況及び薬物相互作用の有無を調査し、今後のがん化学療法の薬物治療へ影響を検討します。 得られたデータは本研究のみに使用し、指名などの個人情報とは公開しません。個人情報の保護には十分な配慮を行ったうえで調査します。上記対象に該当すると思われる患者さんで、本研究への登録を希望されない方は、下記の担当者まで連絡下さい。など、希望されない場合でも今後の診療において不利益を被ることはありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者： 石田耕太 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604